

お詫びとお知らせ

2010年7月5日

世界遺産アカデミー / 世界遺産検定事務局

2010年7月度の世界遺産検定「2級」におきまして、問題文中に誤植がありましたので、訂正しお詫びするとともに、対応についてお知らせいたします。

【問題文】

- 日本での世界遺産の推薦手続きの説明として、正しくないものはどれか。〔2点〕
- (3)： 1. 暫定リストに記載される文化遺産は、各自治体からの立候補物件のなかから文化庁が選定する
2. 自然遺産は、環境庁および林野庁が物件を所有する自治体と協議のうえ選定する
3. 暫定リストへの記載は、外務省、国土交通省、環境省、文化庁、林野庁、水産庁の6省庁と、オブザーバーとして加わる文部科学省、農林水産庁によって開かれる世界遺産関係省庁連絡会議で決定される
4. 暫定リストに記載された物件は、直ちにユネスコの世界遺産センターに推薦される

【解答】

選択肢「4」

(正しくは……暫定リストに記載された物件は、要件の整った物件から順次推薦される。また各回の世界遺産委員会に推薦できる物件数は、1締約国2件まで、かつ2件のうち1件は自然遺産とする条件がある)

【上記問題文中の誤り】

- ・ 選択肢「2」文中の「環境庁」→正しくは「環境省」
- ・ 選択肢「3」文中の「農林水産庁」→正しくは「農林水産省」

【受検者の方々への対応】

選択肢「4」だけでなく、誤植のために「2」および「3」も正しくない内容となったため、「2」「3」「4」を選択した受検者に得点(2点)を与える。

以上